

★先生方へ～解答欄の 1～7 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

1 (1)

1	名前	ウ	図	ケ
---	----	---	---	---

(完全解答)

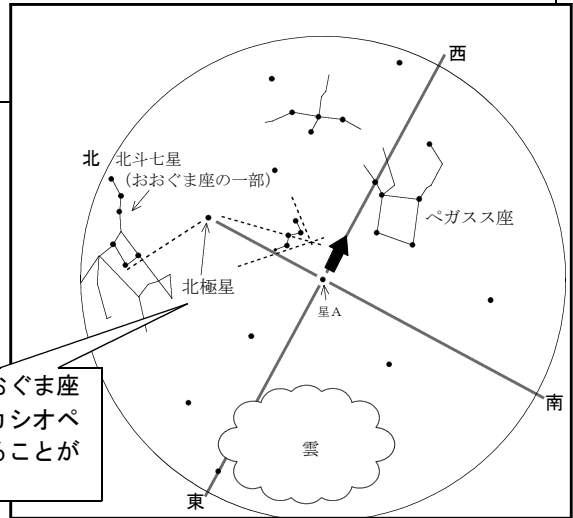
おおぐま座がある空が、北の空です。
秋の星座であるペガサス座が、西の空にあります。雲がかかっているのは、東の空です。ということは、東の空には冬の星座があります。

星座早見を使って、夜空を観察し、
・北極星の見つけ方
・東の空、西の空の場所
・星座の形や場所を確認しましょう。

2	向き	イ
---	----	---

まずはじめに、北を示す北極星を見つけます。北極星をもとにして南を確かめ、その後、東と西の方位を確かめます。

3	理由	北極星と天頂にある星Aを結ぶ直線に対して垂直であり、南の空が下になるようにしたとき右向きとなるから。
---	----	--



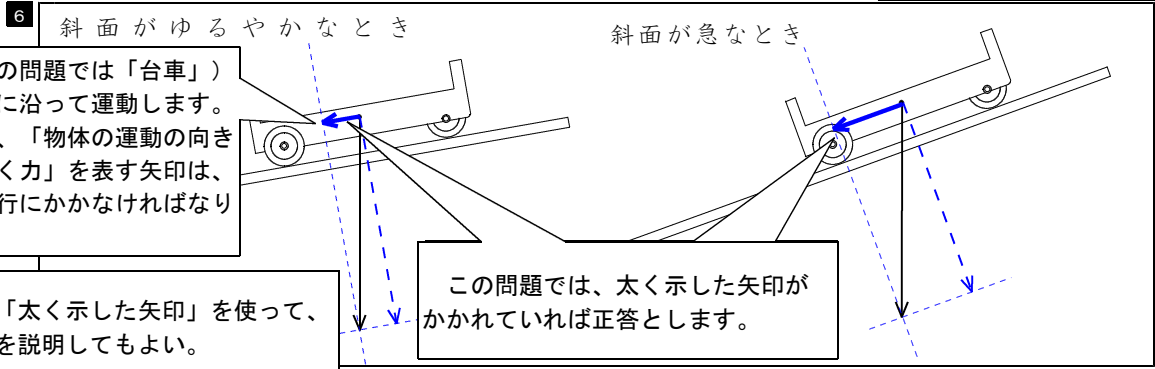
北極星は、おおぐま座(北斗七星)やカシオペヤ座から見つけることができます。

2 (1)

4	①	○	②	○
5	③	60	④	○

台車は、速さを増しながら、斜面を下っています。それで、「平均の速さ」という表現になっています。「グラフの読み方」や「速さ」の意味、小数の計算も確認しましょう。

(2)



物体(この問題では「台車」)は、斜面に沿って運動します。ですから、「物体の運動の向きにはたらく力」を表す矢印は、斜面と平行にかかればなりません。

図中の「太く示した矢印」を使って、「理由」を説明してもよい。

この問題では、太く示した矢印がかかれば正答とします。

7	理由	矢印の長さが、「斜面が急なとき」の方が「斜面がゆるやかなとき」よりも長いから。
---	----	---

「矢印の長さ」が表しているものは、「力の大きさ」です。ですから、矢印の長さを比べてみて、「矢印の長い」方が「力が大きい」ことを表しています。

7 問中